



道志村  
山中湖村  
忍野村  
富士河口湖町  
鳴沢村

近隣にお住まいの皆様へ

配達地域指定

山梨県議会議員

# 流石やすし

あなたの声を県政に届ける

県政報告 Vol.5 令和2年8月発行



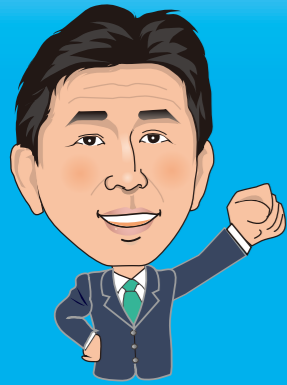
## 感染症に強い社会、経済を目指して!

Withコロナ

新しい生活様式を工夫して取り入れましょう

Afterコロナ

安全・安心で快適な普段の生活を取り戻しましょう



新型コロナウイルス感染症対策として山梨県は、医療従事者をはじめ、中小企業・個人事業主、子育て家庭や妊婦など、すべての県民が安心して生活が送れ、経済活動が止まることのないよう様々な支援策、取り組みを行っています。

今後、県民の生命と経済を両立できる「超感染症対策」への移行を目指す「やまなしグリーン・ゾーン構想」を策定しました。これにより、県民や来訪者の安心・安全を確保し、県内経済の再生につなげる「超感染症社会」へのスムーズな移行が望まれます。

一方で、2月～5月の県内観光関連の消費額は前年同期から1千33億円減額（75%減少）となりました。

県内消費額の9割以上を占める国内からの観光客に軸足を置いた観光振興に取り組む方針とし、国内旅行代金の半額相当を支援する国の「Go Toトラベルキャンペーン」に1人5千円を上乗せするなど6月補正予算案に観光需要を喚起するための事業予算を計上しました。

“感染症拡大防止”と“経済復興”の両立を目指しあらゆる施策を駆使し、安心・安全な観光地であり続けるために地域全体で“やまなしグリーン・ゾーン構想”の浸透を促進させていただきます。ご理解とご協力をお願いいたします。

それでは、6月山梨県議会定例会の内容をご報告いたします。

## 令和2年度6月補正予算の概要

6月補正予算は「感染症に強い社会構築へ向けて生活と経済を両立した、新型コロナウイルス感染症に対応した予算」と「県民生活の豊かさの実現に向けての予算」を重点的に計上した。主な内容は次のとおりである。

### 新型コロナウイルス感染症に対応した緊急対策

#### 医療・介護従事者等慰労金

(54億5,049万円)

医療、介護、福祉施設などの職員に慰労金を最大20万円支給する。

#### 医療施設などの感染拡大防止対策事業費補助金

(43億7,396万円)

医療、介護、幼児教育などの現場で感染拡大の防止や診療体制の確保などの取り組みに助成する。

#### 新型コロナ対応歯科診療受信促進事業費

(7,937万円)

適切な口腔ケアで感染リスクを低減させるため、県民に無料の歯科検診、口腔衛生指導を行う。

#### 妊婦の感染不安解消支援事業費

(6,241万円)

妊婦の感染不安を解消するため、妊婦を対象にPCR検査を行う。

#### ひとり親世帯臨時特別給付金

(1億2,701万円)

感染拡大の影響による負担増加や収入減への支援として、低所得のひとり親世帯に給付金を支給する。

#### やまなしグリーン・ゾーン構想推進事業費

(24億6,371万円)

認証制度の対象事業者の設備改修、備品購入への補助金を拡充、認証基準に適合するための山小屋の機器整備、設備改修を補助する。

#### 公立小中学校学習支援体制強化事業費

(11億4,758万円)

児童・生徒の学びを保護するための教員や学力向上支援スタッフなどを追加設置する。

#### やまなし安全・安心移住生活プロモーション事業費

(6,996万円)

県内への移住や2地域居住を推進するため、やまなしグリーン・ゾーン構想をPRする。

#### 避難所感染防止対策支援事業費

(1億4,775万円)

災害発生時の避難所における感染防止を図るための取り組みを行う。

#### PCR検査体制強化事業費

(1億2,422万円)

新型コロナウイルス感染症患者の早期発見、早期治療を徹底するため、県内全域における検査体制を構築する。

#### 県内産業反転攻勢支援事業費

(3億円)

観光産業を支援するため、国の「Go Toキャンペーン」と連動し、本件の域の医療機関における専門研修の受入体制を確保し、医師の地域偏在解消を図るため、指導医の派遣に要する経費に対し助成する。

#### 生活福祉資金貸付事業推進費補助金

(2億3,300万円)

低所得者、障がい者を経済的に支援するため、生活に必要な資金の貸付けを実施する県社会福祉協議会に対し助成する。

### その他の主要事業

#### 電子版かかりつけ連携手帳電子決済モデル推進事業費

(3,182万円)

重度心身障がい者医療費助成制度の受給者の窓口負担を軽減するとともに、健康増進を支援するため、電子版かかりつけ連携手帳を活用した電子決済システムを構築する。

#### 産業集積促進助成金

(6億5,663万円)

産業集積の促進及び雇用の創出を図るため、県内に

立地して事業を開始した製造業者等に対し、助成金を交付する。

#### 燃料電池評価解析技術高度化事業費

(4,556万円)

燃料電池関連産業の集積・育成を促進するため、国が進める研究開発事業に参画し、新規開発された燃料電池の評価・解析を行う。

差出人・還付先

流石やすし事務所

山梨県富士河口湖町船津3449 TEL:0555-73-1311 FAX:0555-73-3500  
E-mail:fujisan5@mfi.or.jp

**概要** 長崎知事は460億4,890万9千円に国の第2次補正予算成立を受けて編成した、新型コロナウイルスに対応する170億9,651万9千円を追加した、総額631億4,542万8千円の令和2年度6月補正予算や条例案など40案件を提出し可決しました。

知事は所信表明で、新型コロナウイルス対策は、県民の生活と命を守るため、スピード感を持って展開してきた。今後は第2波に備えた医療提供体制の構築、感染症に強い社会・経済の形成、速やかな反転攻勢のための施策に正面から立ち向かう。6月補正予算はこれらの対策に重点を置いて編成した。と強い決意を述べました。

**条例** 県民の利便性の向上及び行政事務の効率化を図るため、個人番号の利用範囲について所要の改正を行う「山梨県個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例中改正の件」などを審議・可決。

**令和2年度6月補正予算**  
補正予算の規模（一般会計）は、総額631億4,524万8千円  
このうち、新型コロナウイルスに対応する予算は170億9,651万9千円（国の第2次補正予算成立を受けて編成）。



# 所信表明要旨

## 新型コロナウイルス関連

山梨県の新型コロナウイルス対策は、県民の生活と命を守るため、スピード感を持って展開してきた。財源、医療費源などは他県並みの対策を全て取り込むことは困難である。選択と集中が必要であることから、現在直面する課題の解決と将来への布石の二兎を追うことを旨として取り組んできた。足元の状況は警戒を要するが、全体としてみれば感染拡大を概ね抑制できている。

## 補正予算関連

第2波に備えた医療提供体制の構築、感染症に強い社会・経済の形成、速やかな反転攻勢のための施策の展開に正面から立ち向かう。6月補正予算はこれらの対策に重点を置いて編成した。医療提供体制の構築に最

優先で取り組んできたが、第2波への備えを確たるものにするため、検査態勢を拡充し、県内各地域の拠点的な医療機関に検査機器などを整備する。マスク、防護服、消毒液などの物資は今後も県で確実に確保する。県内で不織布マスクを安定供給できる体制を整備する。今回の経験を将来の糧とするため、感染症対策の立案から実行までを2元管理する「疾病対策管理センター」の設立の検討に着手した。

感染拡大や未知の感染症が発生した場合も生活と経済が両立できる新しい社会への移行が必要である。『やまなしグリーンゾーン構想』をスタートさせ、「超感染症社会」に移行することを目指す。飲食店や宿泊施設に認証を付与し、消費者に分かりやすく示す仕組み

を構築する。事業者に必要な設備改修や備品購入などの経費を醸成する。認証取得事業者には販売促進や観光振興を後押しする県施策との連動を視野に入れていく。

事業者に最速で国の支援策を届けるため、国の持続支援し、雇用調整助成金の相談会を開催している。資金繰り支援として商工業振興資金全体の融資枠を倍増させる。飲食店を支援すべく無尽を活用したキャンペーンを展開する。国のキャンペーンに本県ならではの付加価値の高い観光資源を組み合わせ、他県と差別化して誘客を促進する。併せて、地場産業事業者や農家も支援する。

## 県政課題

スポーツによる地域活性化に多様な主体が連携して取り組むため、具体的な施策の方向性を示す戦略を本年度中に策定する。国史跡に指定された甲府城跡

## 主な代表質問

### 1. 超感染症社会に向けた今後の取り組みは。

の具体的な整備指針の策定に着手する。太陽光発電施設の適正管理は、より実効性のある事業者指導の在り方を検討する。新たに整備するライフル射撃など狩猟全般の研修拠点施設は、韮崎市の県有林に整備する場合の概算工事費など基礎資料を得る調査を実施する。

### 収束後の山梨

新型コロナウイルスは極めて短期間で日本社会に変革をもたららし、さらに大きな変革が起ころ。企業などの大都市圏脱出が現実味を帯びる中で、リニア中央新幹線が開通する優位性がある。グリーン・ゾーン構想を確実に実施し、県全体が「安心・安全・信頼」を獲得すれば大都市圏の住民から選ばれる地域となり得る。県民、事業者、行政の協力で「超感染症社会」に脱皮し、新型コロナウイルス収束後の新しい山梨を築きたい。

### 組みは。

**知事** 昨年、環境影響評価に着手した。住民から意見を伺うなど丁寧な対に努めている。並行して都市計画手続きを国と協力して進める。

### 4. IOTの中小企業の支援体制は。

**知事** 本年度から新たにIOTなどに関する中小企業向け相談体制を強化し、6月には山梨産業支援構内に支援窓口を設置した。IOTや生産管理などに精通したアドバイザーが企業を訪問し、企業活動における課題の指摘やIOTの導入の提案、導入後の効果検証などについて一貫した支援を実施する。

### 5. 地場産業の支援策は。

**知事** 日本酒や織物の組み合わせによるインターネット販売サイトの構築や日本酒、ワイン、ジュエリーの各組合が行うSNSなどを活用したプロモーションなどの販売拡大に向けた取り組みを支援する。

## 御坂トンネルの現況

☆国道137号線 新御坂トンネル舗装補修工事が富士河口湖町方面入口から約1,000mを今年10月～令和3年3月の工期で実施します。また、残りの中央部の工事は令和3年度に実施予定です。  
☆新たな御坂トンネルの「道路概略設計・現地調査・道路予備設計」のスケジュールは、令和2年～令和5年の予定です。



新たな御坂トンネル(予定地) (河口湖側)



新たな御坂トンネル(予定地) (甲府側)



現在の御坂トンネル